



SERVICE CLUB TO THE YMCA

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,
NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 学びと奉仕と分かち合い
- ② アジア会長標語 天地の調和を取り戻そう
- ③ 日本区理事標語 新リジョン! さあ前進!
- ④ 中部部長標語 共に勝つ!
- ⑤ 会長標語 思いやりと勇気を持って突き進もう

1996年 10月号

< 今月の聖句 >

わたしたちの主イエス・キリストの父である神、慈愛に満ちた父、慰めを豊かにくださる神がほめたたえられますように。神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。
コリントの信徒への手紙 第1章3~4節

1996年10月例会のご案内

◎ 第一例会

と き：10月8日(火) 17時より
ところ：名古屋キャッスルホテル
プログラム：日本区大会デナー試食
スピーチ：加藤次長およびシェフによる試食会について料理の説明 当日服装にご注意!

◎ 第二例会

と き：10月22日(火) 17時より
ところ：名古屋YMCA 407号

◎ ブリテン委員会

と き：10月30日(水)

◎ 日本区実行委員会

と き：10月1日(火) 17時より
ところ：名古屋YMCA 407号

◎ 名古屋YMCAバザー

と き：10月27日(日)
ところ：名古屋YMCA 8時30分集合
10月12日 西部大会(福山)
10月13日 北東部大会(仙台)
富士山部大会(熱海)
琵琶湖・京都部大会(京都)
10月20日 九州部大会(福岡)
10月27日 南東部大会(沖縄)

グランパストーク

太宰治の小説「猿面冠者」の中に「風の便り」と名付けられた手紙が出てくる。

「人生の岐路に立ち、嘆泣すれば、何処かしらないところから風とともにひらひら舞ひ来って、前途に何か光を投げかけて呉れる。」ような手紙。主人公はその不思議な「風の便り」に励まされ、幾度も崩れそうな希望を取り戻してゆく。

これは、作者の空想にすぎないが、この

ような希望の手紙はそれはもう「書き方」の問題ではなく、より本質な書き方の心の誠実さにかかわってくる。

無用に構想だの技巧だのの御座なりの美句麗句などをつなげるよりも一字一句に真心を込めて書けば、それは「風の便り」となり送り手にあなたの心が伝わり、またあなたの心の豊かな気持ちにつつまれる事になるのではないのでしょうか。

三井 秀和

9月30日	例会出席状況				BFポイント		クラブファンド(月)	
	在籍者	20名	第1例会	17名	当月・切手		ニコBOX/ト	¥13,000
	例会出席者	19名	第2例会	13名	当月・現金		ファンド	¥87,080
	当月出席率	95%	部会 他	16名	累 計		合 計	¥100,080

実行委員会報告 (概要)

日時 1996年9月25日 19:00~21:00
 場所 名古屋YMCA 407号会議室
 出席 阿部、荒川、井川、池野、加藤元、坂口、木野村、坂倉、三井、浅野、遠藤、橋爪山内、日比野 (日本旅行)

1. 部会参加報告

東部部会および阪和部部会の参加報告と今後他部会でのアピールについてのポイントの指示とアドバイスがされた。

- (1) アピールは懇親会席上で行うパターンが多いので、注目させるテクニックが必要。
- (2) 委員長が作成したアピール参考文書をよく理解し要点を集約して話すことよ。
- (3) 新聞見本は必ず持参し相手方の理解を得る。
- (4) 協賛広告依頼文書は各クラブ会長+部長に必ず説明し手渡すこと。

2. 予算関係

- (1) 登録手続き諸経費について
登録手続きに係る経費は、後の繁杂さを避けるためパターンAとする。
- (2) 同時通訳について
同時通訳は経費節約のため、前回打合せ通りボランティアを3名程度依頼する。レシーバーの個数は別途検討。損害有る場合一台当たり 20,000円要求される。
- (3) フェロシップアワー関係経費
場を盛り上げるため付属品は必要であるが経費的負担が大きくなるようであれば、別途キャスルと交渉する。
- (4) 記念品について
何にするかは今後の論議であるが、予算計上は行ない。当面カバンは採用しない。
- (5) プログラム、宿泊登録担当は次回 (10月1日) までに細部を詰めて予算計上する。

3. その他

来賓等の参加依頼状の作成次期、ホテルの確保状況、アトラクション時間等について話し合った。その他会議詳細は報告書を参考。

※委員会欠席者は部門長に内容の確認を行うと共に報告書に目を通すこと。

委員会書記

‘96-’97 出席表 96.9.30

NO	例会 氏名	9/	9/	9/	9/							
		3 大 会 委 員 会	10 第 一 例 会	16 棋 の 上 祭 り	17 第 二 例 会							
1	阿部 一雄	○	○	/	○							
2	荒川 恭次	○	○	○	○							
3	井川 幸吉	○	○	/	○							
4	池野 輝昭	○	/	/	○							
5	馬場寅太郎	○	○	/	/							
6	尾崎 史忠	/	○	/	/							
7	加藤 道子	○	○	/	/							
8	加藤 元紹	○	○	/	○							
9	坂口 功裕	○	○	○	/							
10	坂倉 洋	○	○	○	○							
11	佐藤 壽晃	○	/	/	/							
12	真田 幸治	/	/	/	○							
13	丹羽 真清	○	○	○	○							
14	服部 庄三	○	○	/	○							
15	坂野 清治	○	○	○	○							
16	深谷 裕子	/	○	/	/							
17	三井 秀和	○	○	/	/							
18	吉田 一誠	/	○	○	○							
19	吉田 正	/	○	/	○							
20	木野村 映	○	○	○	○							

Happy

Birthday



メンバー 6日 尾崎 史忠
 コメット 2日 吉田 剛

13日 三井 由利子
 15日 三井 加奈子
 25日 坂倉 央輝

根の上祭りによせて会長からメッセージ

ホストクラブとしてよりよいプログラムサービスを行う為、クラブメンバーは積極的に参加してください。キャビンとトイレの屋根も新品のように蘇りました。ワークお疲れさま。根の上友の会会長、祭りにご協力ありがとうございました。

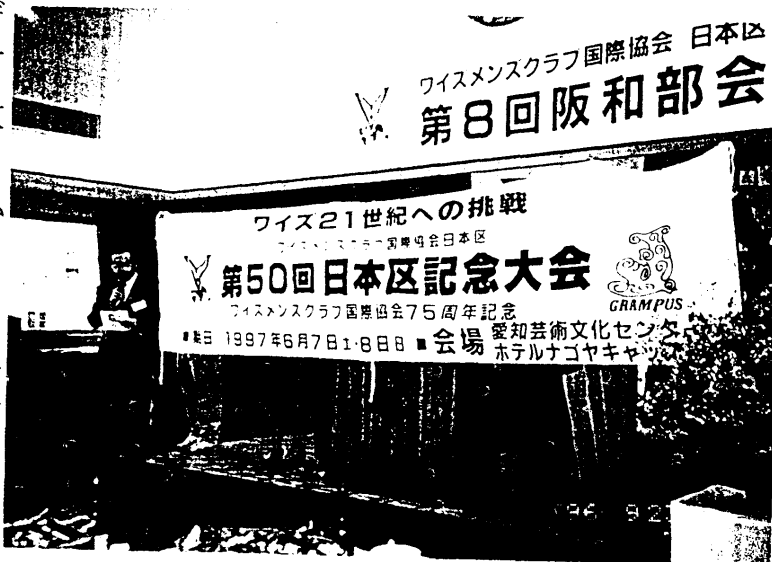
阪和部大会報告 (和歌山)

坂口・服部 9月23日

坂口・服部のコンビで阪和部部会にて、日本区大会のアピールに行っていました。前日の台風一過、晴天に恵まれ、金城部長の開会点鐘に始まり、来賓挨拶、事業主査の質問形式による各クラブの活動報告、和歌山の奇才学者南方熊楠についての記念講演と続き、次の懇親会の中でアピールの時間をいただきました。紀の川クラブのブラザーである名古屋サウスの永田兄以下5名の協力も得、阪和部会員の半数百名の出席をお願いしました。

部長はじめ多くのワイズから暖かい応援のお言葉をいただき、心強くして帰ってまいりました。

服部 庄三



中西部大会報告 (大阪)

服部・加藤(元)・丹羽 9月28日

“ワイズメンズの熱い兄弟愛”に感激した1日でした。28日(土)14:00~大阪梅田阪急百貨店で開催された第8回中西部部会は「大阪なかのしまクラブ設立総会」並びに「大阪西クラブ10周年記念例会」を兼ねた多彩なトリプル・コンベンション(参加者180名)であちこちから、大阪らしく「せこい」との声が聞こえていました。会は定刻より、一部が始まり「中西部会」「大阪なかのしまクラブ設立総会」が淡々と、手際良く進められ、特に「なかのしまクラブ」は、日本で初めて女性だけによるクラブの誕生のためか、出席者全員が関心を持って、来賓の祝辞、決意表明など聞き入っていました。終了間際、「第50回日本区大会」のアピールの時間となり、静粛な中で、注目されながら、我々の目的は達成できました。記念写真撮影後、第二部に入り、大阪西クラブの「記念例会」となり、出席クラブの紹介(香港、台湾、韓国の兄弟3クラブ含む)、10年の歩み、来賓挨拶、アトラクションとスムーズに進行されました。この時間中、5件の仮登録がもらえるほど、名古屋への期待は高く、半ばもう成功した感じすらしました。“ワイズメンズの熱い兄弟愛”に感激し参加を終えました。

なお、番外編のお好み焼、明石焼は最高でした。鉄谷兄(大阪サウス)ほかの皆様には、感謝もうしあげます。

加藤 元紹

第一例会報告

ドライバー：三井 アシスト：坂野

今回の第一例会は、服部氏のビデオによる世界大会（カナダ）の報告会となりました。ビデオは空港からレンタカーにてカナダの山々の様子から始まり、世界大会の受付けや会場内の様子、ディナー等食事の風景、日本の大会とは一味違った様子が映像にて見ることが出来、日本区大会の参考になったかと思えます。

後程、南山YMCAの小林氏のスライドおよび説明がありました。

第一例会を期にかねてからお話しの深谷さんの入会式があり おめでとうございます。

坂野 清治

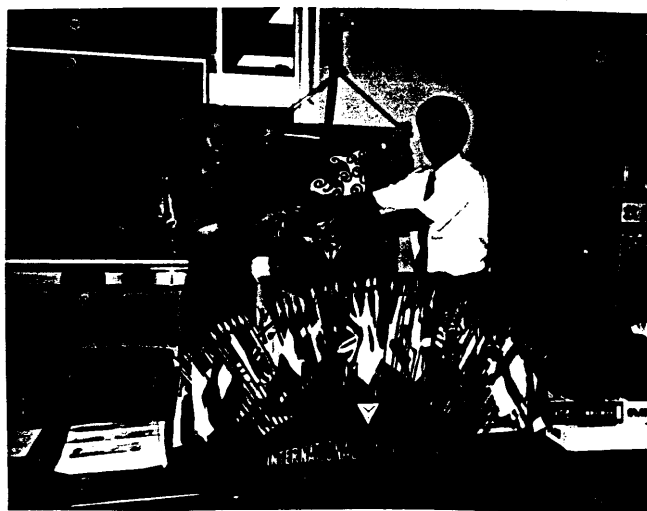
深谷 裕子より
ほんとに一言メッセージ

「よろしく！」

追伸 電話の変更

自宅：778-6253

携帯：080-861-9039



根の上祭り

9月16日恒例の根の上祭りが、「根の上を愛する会」主催、グランパスY's運営協力でYMCA根の上キャンプ場にて開催されました。

この日にあわせて15～16日に根の上を愛する会がワークキャンプを行いキャビン（5棟）とトイレの屋根のペンキ塗りをしました。

15日夜は、ワークを終えた愛する会・土曜クラブのメンバー・ワークのボランティアと木野村・荒川・坂口・坂倉のメン・メネット・コメットなどで楽しい夜を過ごし16日早朝ワークと根の上祭りの準備が始まりました。

ワーク・根の上祭りの準備とも人数が少ない為、ワークは午前中に終わる予定が夕方迄、根の上祭りの準備も早く来てくれた根の上祭りの参加者に手伝ってもらいなんとか準備完了。

根の上祭り参加者は総勢70名ぐらいとなり、恒例のバーベキューにパエリアの新メニューも登場し、豪華抽選会を行い無事終了となりました。

グランパスY'sの運営協力する根の上祭りも今回で4回目となりました。来年は、根の上祭り参加者にもっとキャンプ場を知ってもらえるようなプログラムを取り入れ また、ワークキャンプにも参加していただければと思います。

坂倉 洋